

新宿区大久保地区におけるフィールドワークの実施報告

● 吉 田 さ ち

1. はじめに

2022年7月11日（月）、春学期月4限「多文化社会論」受講生の有志5名と担当教員で、新宿区大久保地区の多文化状況について学びを深めるため、大久保で街歩きフィールドワークを行った。新大久保駅周辺の当該エリアは、コリアンタウンとして知られているが、近年では多国籍タウンに変貌している。フィールドワークでは、授業で予め下調べをした大久保を実際に歩き、当該地域の多文化状況についての理解を深めた。

本報告では、大久保でのフィールドワークの概要を示し、成果および課題を示す。

2. フィールドワークの位置づけ・目的

フィールドワークは、2022年度月曜4限「多文化社会論」の授業外活動として実施した。「多文化社会論」は、コミュニケーション文化学科の前期課程「総論」に含まれる科目である。2022年度の授業は以下の内容で実施した。

- (1) 学期の前半で、多文化社会に関連する基本的な概念・理論について概観する。
- (2) そのうえで、国内外の日系・コリア系のエスニック・コミュニティに焦点を当てて、彼らの多言語使用、言語シフト、言語教育、継承語の維持等について考察する。
- (3) 学期の後半では、日本のエスニック・タウンの一つである新宿区大久保地区についてグループで調べてその結果を発表する。

受講生たちが事前に調べた大久保の多文化状況について、実際に現地に赴き、街歩きを行うことで、実体験を通じて一層の理解を深めることが、フィールドワークの狙いである。

3. フィールドワークの実施内容

フィールドワークは、2022年7月11日（月）14：00～17：00頃にかけて、新宿区大久保1～2丁目、百人町1～2丁目周辺で実施した。

フィールドの特徴として、外国人の人口比率が極めて高い地域であることが挙げられる。2017年現在¹、大久保1・2丁目、百人町1・2丁目の住民の実に4割前後が外国人であ

る（吉田 2018）。

大久保では、1990年代以降、複数回の韓流ブームを経て、職安通りと大久保通り、さらにその2つの通りを結ぶ細道に韓国系店舗が多く見られるようになった（稲葉 2008）。

近年では、ハラルフード店、中国、ネパール、ベトナムなどの店も増え、多国籍タウンに変貌を遂げている。JR 新大久保駅の東側の久保1・2丁目は主に韓国系の店舗・施設が多く、コリアンタウンとしてにぎわう地域である。駅の西側の百人町1・2丁目は、「イスラム横丁」や道教の宗教施設がある等、多国籍な様相を見せる地域である。

次に、フィールドワークの具体的な実施内容について述べる（資料1 参照）。大久保を街歩きしながら『多文化』を探して写真に撮り、共有することを「今日のミッション」とした。

設定されたルートの中で、皆中稲荷神社、東京媽祖廟、イスラム横丁等の学生になじみの薄い地点は、教員が説明をしながら、時間をかけて多文化状況を観察した。その後、大久保1・2丁目では、学生と教員が一時別行動し、学生には「多文化」の写真を撮りながらチェックポイントをまわってもらった。最後に集合場所に集まり、各自が撮ってきた写真や感想等を全体で共有した。

<資料1. 配布資料>

新宿区大久保フィールドワーク —大久保を歩いて多文化を探そう！—

▶訪問場所：新宿区大久保1～2丁目、百人町1～2丁目周辺

▶訪問日時：2022年7月11日（月）14:00～17:00

▶参加メンバー：〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、吉田さち

▶今日のミッション：大久保を街歩きしながら、「多文化」を探して写真に撮りましょう（「多文化」画像はLINEのアルバムで全員で見られるように共有）。

▶主なルート

①イスラム横丁／②一番街／③大久保通り／④イケメン通り（別名「大久保の竹下通り」）

1 2022年現在、新宿区（2022）には「個人情報保護法の観点から、町丁別の国籍別人口は集計・公表していません」とあり、町丁別の人口は確認できていない。

／⑤職安通り

★16:30 に待ち合わせ場所に集まり、今日の成果・感想を話し合って解散します。

▶チェックポイント（行ったところに☑しましょう。全部まわれなくても OK です！）

《百人町エリア》

- 皆中稲荷神社（東京都新宿区百人町 1-11-16）

☞「皆中稲荷神社」の由来、「百人町（町名）」の由来を調べてみましょう。

- アンビカベジ&ビーガンショップ新大久保店（新宿区百人町 1-11-29）

☞一番街にある。インドの食材、ビーガン食材などを扱う食材店。

- ルンルアン お菓子処（新宿区百人町 1-14-3）

☞スイーツを中心に小弁当なども扱うハラル食品のお菓子屋さん。

- 東京媽祖廟（新宿区百人町 1-24-12）

☞大久保駅南口。台湾および中国沿海部を中心に信仰されている女神(媽祖)を祭る道教の施設。

《イスラム横丁》

- GREEN NASCO（新宿区百人町 2-10-8）

☞イスラム横丁にあるハラルフードの食材店。

- 新宿八百屋（新宿区百人町 2-9-16）

☞イスラム横丁にある青果店。

- ザジャンナットハラルフード（東京都新宿区百人町 2-9-1）

☞イスラム横丁にあるハラルフードの食材店。

- NATIONAL MART（新宿区百人町 2-9-15）

☞イスラム横丁にあるハラルフードの食材店。

《大久保通り沿い》

- ソウル市場（新宿区大久保 1-16-15）

☞韓国食材を扱うスーパーマーケット。どんな商品が売られているでしょうか。

- 新大久保韓国横丁（新宿区大久保 2-19-1）

☞授業中のプレゼンで紹介されていたフードコート。

《大久保エリア》

- 新宿区立大久保図書館（新宿区大久保 2-12-7、2 階）

☞7/11 は開館日。多文化サービスに力を入れている図書館。韓国語・中国語・英語などの本をそろえた「多文化図書コーナー」がある。

- 小泉八雲記念公園（新宿区大久保 1-7）

明治時代の小説家・随筆家の小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の終焉の地である大久保に開園した記念公園。

□ 小泉八雲終焉の地（新宿区大久保 1-1-17）

小泉八雲（1850～1904）が晩年に居住し、亡くなった場所。

□ 新宿区立大久保小学校（新宿区大久保 1-1-21）

外国人児童の比率が高い小学校。両親のうち一人が外国出身という親を持つ児童が約6割（在日本大韓民国民団(2005)「特集【新宿・大久保地区】差別排す教育現場」）。

《職安通り沿い》

□ SHOWBOX（新宿区大久保 1-17-8）

韓流アイドルの公演が開催されているライブスペース。

■ 文化センター・アリラン（新宿区大久保 1-12-12-1 第2韓国広場ビル8階）

韓国・朝鮮の図書館。4万点の蔵書。残念ながら7/11は休館日。

□ 韓国広場（新宿区歌舞伎町 2-31-11）

1993年に設立された韓国食材を扱うスーパーマーケット。

□ アジアスーパーストア（新宿区大久保 1-8-2 シャルール新宿2階）

タイ食材を中心に扱うスーパーマーケット。

□ 業務用スーパー Yesmart（イエスマート）

韓国の業務用スーパーマーケット。

《エリア点在》

□ 宗教施設

キリスト教会（プロテスタント系が多い）、モスク、ミャンマー寺院などがあれば確認してみましょう。

□ 日本語学校

授業中のプレゼンで紹介されたように1980年代に日本語学校が多く建てられました。

4. おわりに

フィールドワークの成果として、学生になじみの薄かった百人町エリアも歩くことで、大久保がコリアタウンの顔だけでなく、多国籍タウンの顔を持っていることについて理解を深められたことが挙げられる。集合後の学生の感想や学生が撮影した写真からも、そのことが伺えた。

一方で、学生たちが主体的に取り組むための仕組みづくりが十分でなかった。今後は、チェックポイントに設定された目標物を探して写真を取ることや、チェックポイントに行

かなければ解けないクイズを課す等、参加者が楽しみながら主体的に学べる工夫について、さらに検討していく必要があると考える。



画像 1. インド食材店



画像 2. 東京媽祖廟内



画像 3. アジア食材店

参考文献

稲葉佳子（2008）『オオクボ 都市の力 多文化空間のダイナミズム』、学芸出版

新宿区（2022）「住民基本台帳人口 外国人住民国籍別男女別人口」

https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/file_02_00029.html（最終閲覧日：2022年12月20日）

吉田さち（2018）「新宿区大久保地区のコリアン系店名看板についての一考察」『コミュニケーション文化』第12号、跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科